

1. 事業概要

千葉市では、令和4年2月に「特別史跡加曽利貝塚新博物館基本計画」を策定し、令和10年度秋の新博物館開館に向け、検討を進めています。新博物館は、縄文文化とSDGsを学ぶことができる博物館を目指し、市民との連携協働を進め、新博物館を中心として、地域資源・周辺施設とも一体となった賑わいづくりやまちづくりに貢献していきます。本事業は、DBO方式により、新博物館の設計・建設から、開館10年後の事業期間終了日までの維持管理・運営を民間事業者に一括して発注するものです。

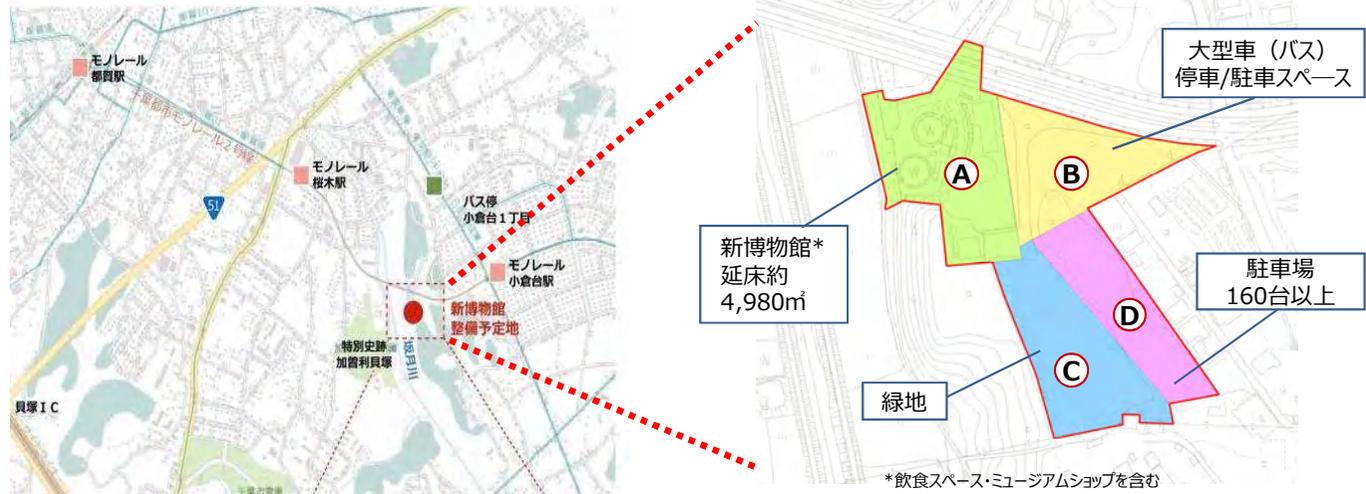


図1 事業対象施設配置図

2. 施設概要

新博物館は、文化財保護法第53条ただし書きに規定する公開承認施設として必要な施設要件を兼ね備えた整備、維持管理・運営を行う方針となります。

表1 諸室の構成

中心となる機能	内容
収集・保存	一般収蔵庫、特別収蔵庫・前室、一時保管庫・前室、トラックヤード等
調査・研究	研究室、ミーティングルーム、収蔵資料整理室、発掘資料整理室、分析研究室、保存研究室、撮影室等
展示	探求型展示「加曽利ラボ」、没入型展示「縄文体験空間」、対話型展示「未来ラウンジ」、企画展示室、展示準備室・備品倉庫等
教育・普及	講堂、活動ルーム、土器づくり工房（※別棟）等
史跡ガイダンス	史跡・コアエリアのガイダンス、展望スペース（屋外）
管理	館長室、事務室、会議室、スタッフ室、ガイド待機ルーム、警備員室、その他湯沸室等
共有	エントランスホール・受付、倉庫、その他廊下等、機械室
付帯機能	内容
利用者サービス	飲食スペース・ミュージアムショップ （※新博物館建物と構造上分離した隣接配置とする）

表2 敷地条件

事業用地	千葉市若葉区小倉町937番地外
敷地面積	約18,982㎡
延床面積	新博物館（飲食スペース・ミュージアムショップ含む）：約4,980㎡ （上記とは別に、土器づくり工房：別棟で約50㎡）

3. 事業方式

本事業の事業手法については、設計・建設の段階から運用のしやすさなどを見据えた整備が期待でき、トータルコスト面で優位なDBO方式を導入します。

4. 施設整備・スケジュール

本事業の実施に伴う新博物館の整備スケジュールは以下の通りです。
なお、博物館は開館までに2夏の枯らし期間が必要となるため、令和8年冬を目処に躯体の立ち上げを想定します。

- ・ 設計：事業契約締結日～令和8年3月（予定）
- ・ 解体撤去：令和7年3月～令和8年3月（予定）
- ・ 建設：令和8年4月～令和10年3月（予定）
- ・ 開館準備：事業契約締結日～開館（供用開始）日の前日
- ・ 維持管理・運営：開館（供用開始）日～10年後の事業期間終了日

